

令和3年度事務事業総点検の実施状況について

1 趣旨

令和3年度に実施した事務事業総点検（以下「総点検」という。）について、取組の成果や課題、今後の取組方向を整理しました。

2 実施状況

(1) 全事業の点検実施期間

当初、行財政経営計画策定時においては、令和3年度の単年度で総点検を行うこととしていましたが、令和3年度から3年間で全事業を点検することしました。

【令和3年度の目標】 成果志向による施策・事業の構築ができる職員を各課に一人ずつ育てる。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検事業	各課1事業以上を選定	令和3年度点検未実施事業	

(2) 選定事業の見直しの方向性 (31 事業)

事務事業分類	事業数	見直しの方向性	事業数
一般事務事業	22 事業	縮小	1
		移管	1
		事務改善	1 1
		拡充	1
		継続	8
法定義務等事業	2 事業	継続	2
内部管理事業	3 事業	事務改善	2
		継続	1
施設管理運営事業	4 事業	事務改善	1
		継続	3

3 令和3年度を取組成果

(1) 選定事業の点検に取り組んだ成果

ア 成果志向による施策・事業の構築

- ・ 目的（目指す姿）や成果目標を明確にする（考える）ことで、目の前だけではなく、大局的な視点で見るという意識付けにつながった。
- ・ 今後、事業評価を的確に行うため、「成果指標」を設定した。
- ・ 現状分析、現状把握ができていないという課題が明白になった。（担当課と財政課で共通認識となった。）

イ PDCAサイクルによる施策・事業の推進

「成果指標」を設定することにより、PDCAサイクルを回す準備ができた。

(2) 事務事業への反映状況

次の7事業については、令和4年度へ向けて具体的な見直しが行われました。

番号	事務事業名	担当課	具体的な反映事項	
5	交流定住促進事業	企画振興課	事務改善	おためし暮らし住宅事業の廃止
7	防災業務一般事業 地域防災活動推進事業	危機管理課	拡充	体験型防災アトラクションの実施 (新規)
14	子育て世代包括支援センター運営事業	子育て支援課	事務改善	子育てひろばの充実：各認定こども園において出前実施（新規・非予算）
20	住宅政策事業	都市整備課	事務改善	空き家対策補助金の見直し（拡充等）
21	会計事務（非予算事業）	会計課	事務改善	訂正事例等の全庁情報共有化
22	大柿高等学校サポート事業	学校教育課	縮小	魅力化コーディネーターの廃止
29	消防団活動事業	消防本部 総務課	事務改善	消防団員の処遇改善（拡充） 広島県消防協会江田島支部補助金の廃止

4 課題と今後の取組方向

課題	今後の取組方向（案）
ア 総合計画をはじめ各種計画に、目指す姿や成果指標が明確に定められていない。	次期計画策定時に、根拠を明確にした上で設定する。点検時には、仮に設定する。
○ 計画等に定量指標（最終目標）が定められている事業 7事業／31事業	
イ 現状分析、現状把握が十分にできていない。 →成果指標が設定できない。	次期計画策定に向けて、現況データの収集方法や成果分析手法を検討し、確立する。
○ データに基づく現状分析ができた事業 6事業／31事業	
ウ 職員に対して、総点検の意義や目的について、浸透を図ることができなかった。	財政課職員及び一般職員に対して、意義や目的、考え方などを研修会の開催等を通じて丁寧に説明する。
○ 職員の負担感及びやらされ感が大きくなった。	